

カリキュラム

		1年次 基礎科目	2年次 発展科目	3・4年次 応用科目	
A 群 科目	必修	●基礎演習 ●福祉環境学入門	●福祉環境論特講	●福祉環境学演習Ⅰ・Ⅱ	
	福祉環境	○生活環境論 ○差別と人権	○生活と福祉情報 ○生活と地域環境 ○生活とリスク	○ソーシャルワークと法 ○歴史のなかの福祉 ○ハンセン病講義	○家族と法 ○地域と暮らし ○医療と健康 ○現代の福祉国家 ○障害学 ○水俣学
	基幹科目	○芸術表現研究Ⅰ・Ⅱ ○心理学Ⅰ・Ⅱ ○情報処理入門 ○手話Ⅰ・Ⅱ ○統計学 ○点字Ⅰ・Ⅱ ○法律学概論 ○災害と社会 (国際法を含む) ○日本国憲法 ○法学	○民法Ⅰ・Ⅱ ○障害者と法 ○環境法 ○環境社会論Ⅰ・Ⅱ ○地域づくりとバリアフリー ○子ども家庭福祉論Ⅱ	○手話Ⅲ・Ⅳ ○海外フィールドワーク ○福祉環境コーディネーター論 ○スクールソーシャルワーク論 ○災害と社会(演習)	○社会政策Ⅰ・Ⅱ ○地域社会学Ⅰ・Ⅱ ○現代行政論 ○生活と法 ○労働法
	免許・資格 関連科目	○地誌Ⅰ・Ⅱ ○社会福祉原論Ⅰ・Ⅱ ○医学一般 ○ソーシャルワーク論 ○ソーシャルワークの基盤と専門職 ○精神医学Ⅰ ○精神保健福祉の原理Ⅰ	○人文地理学Ⅰ・Ⅱ ○哲学概論Ⅰ・Ⅱ ○経済原論Ⅰ ○経済原論Ⅱ(国際経済を含む) ○公的扶助論 ○保健医療と福祉 ○高齢者福祉論 ○障害児・者福祉論 ○ソーシャルワーク方法論Ⅰ・Ⅱ ○ソーシャルワークの理論と方法Ⅰ ○地域福祉論Ⅰ・Ⅱ ○子ども家庭福祉論Ⅰ ○社会福祉調査 ○精神医学Ⅱ	○精神保健福祉の原理Ⅱ ○精神保健福祉制度論 ○教職日本史Ⅰ・Ⅱ ○ソーシャルワーク演習 ○ソーシャルワーク演習(専門)Ⅰ・Ⅱ ○ソーシャルワーク実習指導Ⅰ ○ソーシャルワーク実習Ⅰ	○自然地理学Ⅰ・Ⅱ ○東洋史概論Ⅰ・Ⅱ ○社会保障論Ⅰ・Ⅱ ○ソーシャルワークの理論と方法Ⅱ ○福祉管理運営論 ○権利擁護と成年後見制度 ○刑事司法と福祉 ○精神保健学Ⅰ・Ⅱ ○精神科ソーシャルワークの理論と方法Ⅰ・Ⅱ ○精神障害リハビリテーション論
D 群	選択	○キャリアデザイン論Ⅰ	○キャリアデザイン論Ⅱ	○キャリアデザイン論Ⅲ	

PICK UP!

PICK UP!

※4年次開設
○卒業論文
○福祉環境学演習Ⅲ・Ⅳ
(卒業論文あるいは福祉環境学演習Ⅲ・Ⅳのいずれか)

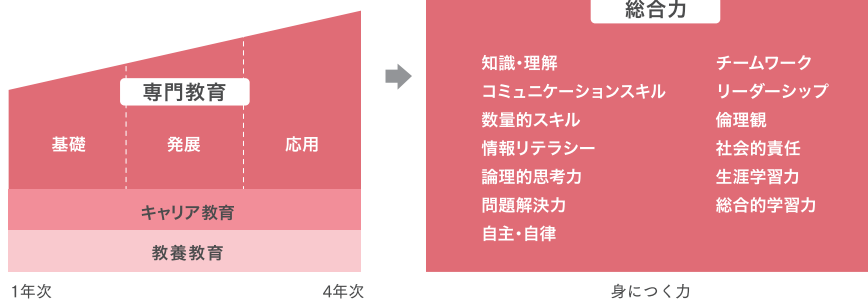
＋ 教養系科目(B・C群等科目)

幅広い「教養」と高度な「専門」教育

幅広い「教養」と高度な「専門」知識の修得を柱に、
多様な人々と協力しながら地域や世界の課題に取り組むことができる人材を育成しています。

開学以来、建学の精神である「師弟同行」「自由闊達」「全学一家」を礎とした教育は、
知的応用能力だけでなく「総合力」で社会を動かす力を生み出し続けています。

■クマガクの学びのしくみ



多角的に物事を捉え、判断するための理解力や思考力・洞察力^{かんよう}を涵養し、
知的好奇心に応える幅広い教養系科目が用意されています。

- 1 人文学系科目 哲学・倫理学・日本史学・西洋史学・東洋史学・地理学・文化人類学・
日本文学・日本語学など
- 2 社会科学系科目 経済学・法学・政治学・社会学・心理学・教育学など
- 3 自然科学系科目 物理学・化学・生物学・地学・数学
- 4 総合科目 比較文化論・人権論・部落解放論・環境論など
- 5 外国語科目 英語・ドイツ語・フランス語・ロシア語・スペイン語・中国語・韓国語
- 6 健康科学・保健体育科目 健康科学(講義・実技)

教養系科目は学科により開設されている科目が異なります。

教養系科目



専門科目

興味・関心に沿って、基礎・発展・応用と、着実に専門性を高める科目を
体系的に設置。アクティブ・ラーニングや課題解決型学習(PBL)も多くの
科目で実施されています。